## Ⅱ 離床を行う上での基礎知識

## Ⅱ -12. 血液ガスデータ

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□ II -12.1 血液ガスの基礎 知識	□Ⅱ-12.1.1 採血方法について 理解している	□Aラインによる動脈血採血について説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2		0
		□動脈穿刺による採血について説明できる			0
		□動脈穿刺後の離床のリスクについて説明できる			☆
	□II-12.1.2 血液ガスの各検査 値について理解し ている	口酸塩基平衡(pH)について説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P127 検査本 P118- 127		$\Diamond$
		□動脈血酸素分圧(PaO2)について説明できる	完全2 P126		$\Diamond$
		□動脈血二酸化炭素分圧(PaCO2)について説明できる	完全2 P126- 127		$\Diamond$
		□重炭酸イオン(HCO3-)について説明できる	完全2 P127		$\Diamond$
		□過剰塩基(BE)について説明できる			0
		ロアニオンギャップ (AG) について説明できる			0
	□II-12.1.3 血液ガスの各検査 値の基準値につい て理解している	口酸塩基平衡(pH)の基準値について説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P125 P127 検査本 P118- 127		<b>♦</b>
		□動脈血酸素分圧(PaO2)の基準値について説 明できる	完全2 P125		$\Diamond$
		□動脈血二酸化炭素分圧(PaCO2)の基準値に ついて説明できる	完全2 P125		$\Diamond$
		口重炭酸イオン(HCO3-)の基準値について説明できる	完全2 P125		$\Diamond$
		□過剰塩基(BE)の基準値について説明できる			0
		□ アニオンギャップ (AG) の基準値について説 明できる			0
	□II-12.1.5 酸素解離曲線につ いて理解している	□SpO2とPaCO2の関係について説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P126		$\Diamond$
		口酸素解離曲線から、呼吸不全を疑うSpO2値に ついて説明できる	完全2 P126		$\Diamond$

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□II-12.1.6 PaCO2が変化す る原因について理 解している	□ PaCO2が上昇する要因について説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 検査本 P123 完全2 P126- 127		<b>♦</b>
		□ PaCO2が下降する要因について説明できる	完全2 P126- 127		<b>\$</b>
	□Ⅱ-12.1.7 呼吸抑制がかかる 病態について理解 している	□呼吸抑制がかかる原因を2つ以上挙げられる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 検査本 P118- 127		<b>\$</b>
	□Ⅱ-12.1.8 呼吸促進がかかる 状態について理解 している	□呼吸促進がかかる原因を2つ以上挙げられる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2		$\Diamond$
□II-12.2 P/F比	□II-12.2.1 P/F比について理 解している	□P/F比の利点について説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P125- 126 検査本 P120		<b>♦</b>
	□II-12.2.2 P/F比の基準値 について理解して いる	□P/F比の基準値について説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P125 検査本 P120		<b>♦</b>
	□II-12.2.3 P/F比の異常値に ついて理解してい る	□P/F比の異常値について説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P125 検査本 P120		<b>♦</b>
	□II-12.2.4 P/F比を求めるこ とができる	ロP/F比の計算方法について説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P125 検査本 P120		<b>♦</b>
	□II-12.2.5 P/F比と離床の関 連について理解し ている	□ P/F比が異常値の場合における離床の判断について説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P125		☆

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□Ⅱ-12.3 酸·塩基平衡	□II-12.3.1 酸・塩基平衡の調 節器官について理 解している	□ PaCO2の調節器官について説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P126- 127 検査本 P122		0
		□HCO3-の調節器官について説明できる	完全2 P127		0
	ロII-12.3.2 アシドーシスにつ いて理解している	□ PaCO2の変化によりアシドーシスになる機序について説明できる(呼吸性アシドーシス)	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P126- 127 P129 検査本 P122		0
		□ HCO3-の変化によりアシドーシスになる機序 について説明できる(代謝性アシドーシス)	完全2 P127 P130		0
	□II-12.3.3 アルカローシスに ついて理解してい る	□ PaCO2の変化によりアルカローシスになる機 序について説明できる(呼吸性アルカローシス)	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P127 P130 検査本 P122		0
		□ HCO3-の変化によりアルカローシスになる機 序について説明できる(代謝性アルカローシス)			0
	□II-12.3.4 pHの変化と酸・ 塩基平衡の関係に ついて理解してい る	□PHの値が示す意味について説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P127 検査本 P122		0
	□II-12.3.5 代償反応について 理解している	口代償反応について説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P128- 129 検査本 P122		0
		口代償反応の原則について説明できる	完全2 P128- 129		0
	□II-12.3.6 HCO3-と PaCO2の値と酸 塩基平衡の関係に ついて理解してい る	□ HCO3-とPaCO2の値から一次性変化がどちらかを説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 完全2 P128- 129		0
		□HCO3-とPaCO2の値から代償反応について 説明できる	完全2 P128- 129		0
	□Ⅱ-12.3.7 アニオンギャップ について理解して いる	□ アニオンギャップが上昇している場合の解釈に ついて説明できる	R-24 検査 R-07 呼吸アセ R-35 急性期2 検査本 P125 P126		0

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
		□酸・塩基平衡の異常と離床の関連について説明 できる			☆
		ロアシドーシスの原因別に離床の留意点について 説明できる			☆
		□ アルカローシスの原因別に離床の留意点について説明できる			☆

大項目	中項目	小項目	確認印	中項目の点
/3	/19	/41		数は P102 に転記して 下さい